



学校だより

横浜市立秋葉中学校



電話811-6773 FAX813-9438

主体性を育てる

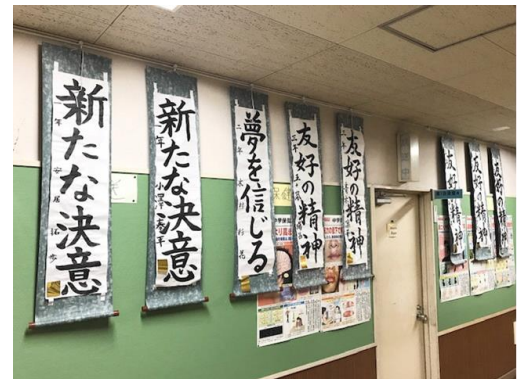
校長 松本 忠司

つい先日、令和3年が始まったと思ったのも束の間、もう2月を迎えます。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」などと言われることもあるように、1月から3月までは、あっという間に過ぎてしまう印象があります。1日1日を大切に過ごしたいものです。

先月は、2学年の「自然教室」と1学年の「職業講話」を予定していましたが、緊急事態宣言の発令などもあり、残念ながら中止の判断をいたしました。学校は休校しませんでした。これからも新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ教育活動をすすめてまいります。皆様も充分にお気をつけください。

例年、1月に実施している「職業講話」や「職場体験」は、生徒自身が働くことの喜びや厳しさの一端を感じ、自分の将来を考えたり、社会への視野を広げたりすることを目的とした教育活動です。子どもたちは、いつかは社会に巣立っていくわけですが、今はまだ将来の夢や目標が見通せないという生徒は少なくありません。ですから、これからも様々な学習や経験を通して、自分の視野を広げ、最適な選択を考え、決定する力をつけていく必要があります。そして、それは子ども自身が主体的に行えなければなりません。

では、子どもの主体性(やる気)を育てるために、私たち大人は、どうしたら良いのでしょうか。子どもの主体性を育てることは、そう簡単なことではありません。教育の専門家も研究を続けているほどです。ただ、子ども自身が主体性を身につける機会を、大人が大切に見守るということは、とても重要なことで、例えば次のようなことがあるでしょう。



○子どもの良いところや成功体験を認める。

誤りを指摘したり、褒めたりすることも大切ですが、子どもが主体的に取り組んだことや、そのプロセスを認めることは、より大切です。

○過保護や過干渉にならないように気をつける。

子どもが自分でできること、考えて決めることを親や大人が先にやってしまったら、子どもは自分からなくなります。「転ばぬ先の杖」は、子ども自身が主体性を身につけるためには邪魔になってしまいます。放任するということではなく、見守る姿勢がとても大切です。

中学生の年代は「思春期」といわれ、自分を客観視し、自分らしさ(アイデンティティ)を確立するために、様々な人との関わりを通して、試行錯誤する時期です。この時期の子どもたちは、関わり方によっては「反抗期」にもなってしまいます。私たち大人は、子どもたちのロールモデル(お手本となる人)として、それぞれがしっかりとつながりながら、成長を支えていきたいものです。

☆PTA 主催行事「ハマ弁デー」

1月20日(水)に PTA 主催行事として、「ハマ弁デー」が開催されました。コロナ禍によって減少していた PTA 活動の機会を設けるとともに、ハマ弁の喫食率向上を目的に行いました。同日朝には、全校生徒一人ひとりに PTA よりペットボトルのお茶が配付されました。

本校のハマ弁デーについては、昨年12月25日(金)に横浜市教育委員会より記者発表されました。その内容を一部紹介しますと、今回のメニューは、フェリス学院大学×横浜市立北方小学校のみなさんの協力のもと、百人一首の和歌の情景をモチーフにしたオリジナルメニューとして作成され、「百人一首献立」として、ハマ弁用におかずをプラスしたスペシャル献立として提供されるとのことでした。

また、ハマ弁の「ぱくぱくだより」では、さらに詳しく紹介されています。

当日の献立

・主食(麦ごはん)・主菜(鶏肉の竜田揚げ)・副菜(五目栗ごはんの具、海藻サラダ)・汁物(もみじる)

「竜田揚げ」や「もみじる」は、百人一首17番^{ありわらのなりひら}・在原業平の和歌「ちはやぶる神代もきかず^{かみよ}竜田川から^{たつたがわ}紅に水くるとは^{くれないみず}」をモチーフにしています。また、この和歌は漫画『ちはやふる』や劇場版名探偵コナン『から紅の恋歌(からくれないのラブレット)』のモチーフにもなった有名な歌です。意味は、「不思議なことが数多く起こる神々の時代にも聞いたことがない。竜田川の水をくくり染めにするなんて」です。



配付されるペットボトル



PTAの皆さん



配付されるハマ弁



各クラスの廊下へ準備



自分で準備



今日のハマ弁



食事の様子



自分でかたづけ

「竜田川」と「竜田揚げ」、「もみじ」と「もみじる」は、ことばあそびです。川の水が真っ赤になるほど、たくさんのもみじが散っている様子をみりん醤油で下味をつけた材料を油で揚げて赤くする料理法で、竜田川を流れる紅葉に見立てています。

また、その日の昼の放送では、秋葉小学校栄養教諭の浅田佳世先生により上記の内容や栄養面について、丁寧に解説していただきました。当日の喫食数は、408食で、喫食率は、約78%でした。普段は、40食前後、約8%前後ですので、今回の「ハマ弁デー」で多くの生徒がハマ弁を食べるきっかけになったと思います。ちなみに教職員は、100%でした。

生徒の感想を一部紹介します

- ・美味しかったです。お米やスープは、温かったけど、からあげなどのおかずは冷たかったので温かくしたらもっと食べやすいと思いました。お弁当は、自分の食べたいものが食べられるという良いところがあるので、複数の中から選べたらいいなと思いました。(1年)
- ・意外とおしかったです。けれどおかずが冷たいままでもおいしいものは、良かったんですけど、からあげは温かい方がおいしいと思うので、その料理が一番おいしい温度だと、もっと良いなと思いました。(1年)
- ・量が少し多く、ご飯が食べ終わるのに時間がかかったため、ご飯の量を調節できるようにしてほしいです。(2年)
- ・普段ハマ弁を利用していますが、とてもおいしかったです。(2年)
- ・ご飯が小学校の時食べていたものにそっくりで、とてもなつかしく感じました。色あいとかもキレイでとてもおいしかったです。もみじるが一番おいしかったです。(3年)
- ・とてもおいしくてびっくりしました。給食を思い出しました。温かくて、デザートもあり、すごく良かったです。おなかにたまりました。(3年)
- ・肉や野菜がバランスよく入っていて、栄養バランスに気を遣っていると思った。おかずをもう少し温かくしてほしい。(3年)
- ・いつもおいしいハマ弁ありがとうございます。(3年)

☆校内書き初め展

1月7日(木)から15日(金)まで校内書き初め展が行われました。教室や廊下に全校生徒の作品が掲示され、優秀作品は13日(水)から、1階職員室の並びの廊下に掲示されました。さらに金賞の中から各学年の代表1点が、区書き初め展に出品されました。場所は戸塚区役所アートコリドー、期間は1月20日



(水)から1月27日(水)でした。全校生徒の書き初めは、どれも新年を迎えた抱負や希望が込められていて力作ぞろいでした。書写能力の向上を目指すとともに、仲間の作品を鑑賞し、書写に関心をもたせる良い機会となりました。生徒たちは、互いの作品を観あつて新年の決意を新たにしていました。

☆オリンピックによる学校訪問

1月20日(水)に東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市推進事業の一環として、野球競技元日本代表 佐藤隆彦 (G.G. 佐藤) 選手が来校され、本校野球部の指導をしていただきました。本事業は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、市内のスポーツ振興を図り、オリンピック・パラリンピックの機運を高めることを目的とし、内容は横浜市内の小・中や特別支援学校、市内で開催されるスポーツイベント等にオリンピック・パラリンピアンが派遣され、講演、実技指導、部活動指導などを実施しているものです。オリンピックから直接話を聞いたり触れ合ったりすることにより、スポーツのすばらしさや夢をもって努力することの大切さ、オリンピックの魅力を知り、さらにスポーツを楽しもうとする姿勢を育てるねらいがあります。



当日佐藤選手には、野球部の活動時間にあわせて来校していただきました。あいさつが終わるとまずはキャッチボールから。部員もときおり佐藤選手に声をかけてもらいながらのキャッチボールに緊張しているようでした。次に内野、外野に分かれての守備練習。佐藤選手には外野手のゴロのボールの取り方、フライのボールの追い方を丁寧に指導していただきました。さらに、バッティングでも実演を交え、スイングのポイントなどを丁寧に説明していただきました。今後の練習の仕方など部員たちは、熱心に佐藤選手の話に耳を傾けていました。最後に部員たちは、普段のプレー



で疑問に感じていることをいろいろと佐藤選手に質問し、それに対して佐藤選手は一つひとつ丁寧に答えてくださり部員たちは、今後の参考にしていました。今回部員たちは、本物のオリンピックと身近に触れ合うことができ、貴重な時間を体験し、良い思い出になったことと思います。当日は感染症予防のため、佐藤選手も部員たちもマスクをつけて活動を行いました。

専任コーナー



緊急事態宣言が発令され、早くも1か月が経とうとしています。学校でも感染防止策を講じながら日々の教育活動を行っております。今のところ、大きな混乱もなく生徒たちは落ち着いて生活ができています。これからも「安心・安全な学校」を目指し努めてまいります。

さて、今回は保護者の皆様へ、お子様のスマホの使用に関するお願いがあります。これまでも折に触れて説明してきた内容ですが、今一度、ご家庭でお子様と話し合い、ご確認していただきたいと思っております。

スマホは情報機器として生徒にとっても生活上欠かせないものになりました。本校でも90%以上のご家庭で保護者の皆様がお子様へスマホを持たせています。しかし、便利なはずのスマホは、時に生徒を危険にさらすこともあります。特に SNS (LINE、Twitter、Instagram、Tik Tok など) は、生徒がよく利用する便利なアプリですが、生徒間のトラブルの素にもなります。さらに、見知らぬ人と簡単に知り合えることから、様々な犯罪に巻き込まれる危険性があり、お子様が被害者だけでなく加害者にもなり得ます。「我が子に限って…」という考えではなく、真剣に対策する必要があります。

そこで、今一度、お子様とスマホの使い方についてのルールを定め、保護者の監督の下で使用していただきたいと思っております。何かあった際に、保護者の皆様へ「そんな使い方をしてるなんて知らなかった…」では済まされないこともあります。また、有害サイトやアプリを排除するためのフィルタリング設定や、アプリをダウンロードした際の保護者のスマホへの通知設定などの携帯会社が用意しているプランもご利用いただき、お子様が安全に使用できる環境整備をお願いいたします。

保護者の皆様におかれましても、何かお困りのことがございましたら、遠慮なく担任にご相談いただきたいと思います。早期発見と初期対応のスピードが解決のカギになります。今後も学校と家庭、地域が連携して子どもたちを育てていきたいと思っています。ご協力、よろしくお願いたします。

生徒指導専任 菱沼直也

☆学校用務員 大橋 左智子(おおはし さちこ)さんのご紹介



臨時の学校用務員として、大橋左智子さんが、1月13日(水)より勤務されています。日々の清掃や修繕等、校内の環境整備をしていただいています。

大橋左智子さんよりメッセージ

「短い期間ではありますが、このようなコロナ禍の状況ですが、ともに気をつけて頑張っていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。」



お子さんのインターネット利用について 保護者としてできること

SNS等によるネットトラブル・ネットいじめ・個人情報流出
見知らぬ人とつながる・ゲームサイトの高額請求
有害サイトからの架空請求、無料動画配信サイト等、問題がいっぱい!

ペアレンタルコントロール(保護者による管理) がとても大切です!

フィルタリングの管理

スマホ・携帯は購入時に販売店でフィルタリングの設定をしましょう。

ゲーム機等は、取扱説明書や各社ホームページの案内に従ってフィルタリングの設定をしましょう。

※ 保護者が使っていたスマホをお子様に使う場合は、販売店でフィルタリングサービスを受けるか、アプリフィルタリングを使いましょう。

※ iPhoneについては、販売店によるフィルタリング設定をするともに、機種ごとに機能制限を設定する必要があります。

※ お子さんに使われても安心にフィルタリングを解除しないようにしましょう。

フィルタリングは最低限必要な対策です。

ルールの管理

お子さんと一緒に、納得して守っていただけるルールをつくりましょう!

- 知らない人に誘われても会わないよ
- 夜中に友達とラインはしないよ

ネット利用の管理

本当に必要なアプリかどうか、家庭で話し合って決めましょう。

アプリをダウンロードする際のパスワードは保護者が管理しましょう。

MINE
ゲーム!
友達 TALK

アイコンは架空のものです。

神奈川県警察・神奈川県少年補導員連絡協議会

2月・3月のおもな予定

2月 1日 (月) 生徒専門委員会	3月 1日 (月) 公立高校合格発表
2月 5日 (金) 2年進路説明会(保護者)	3月 2日 (火) 体操着販売(今年度最終)
2月 9日 (火) 体操着販売	3月 9日 (火) 卒業式予行
2月 12日 (金) 学習相談(1・2年)	3月 11日 (木) 卒業式
2月 15日 (月) ~17日(水) 公立共通選抜入試	3月 25日 (木) 学年集会・大掃除
2月 15日 (月) 1・2年学年末試験(英語・理科・音楽)	3月 26日 (金) 修了式・離任式、教科書配布
新入生保護者説明会	
2月 16日 (火) 1・2年学年末試験(数学・技家・保体)	
2月 17日 (水) 1・2年学年末試験(社会・国語)	
2月 18日 (木) 中央委員会	
2月 22日 (月) 7組遠足	

※進路に関わる日程は、別紙でお知らせしています『月の予定表』や3学年の進路通信『羅針盤』をご覧ください。